



広報 **119**

No. **94**

KEICHIKU

2022年8月

けいちくこういきけん
京築広域圏消防本部



令和4年3月
豊前消防署の消防車が
新しくなりました！

豊前消防署では、平成14年から約20年間、第一線で活躍してきた消防車を更新しました。

新しい消防車には、火災のみならず救助や救急といった複雑多様化する災害現場に対応するための様々な資器材が積まれています。

また、これまでよりも多くの消火用の水(2トン)を積載し、泡消火装置も装備しています。この泡消火装置からは、泡(無害)が発泡され、燃えている物を包み込むことで、早期消火が期待できます。

新しい消防車を災害現場で最大限活用できるよう、隊員たちは日々訓練を重ねています。

令和3年中に消防本部管内で火災は58件発生しています。

秋口にかけて、空気が一層乾燥してきますので、火の取扱いは十分注意しましょう。

※消防署の見学はいつでも受け付けています。気軽にお立ち寄りください。(団体様の場合は、事前連絡をお願いします。)



台風・風水害に備えよう!



『……しておけばよかった』とならないために!

近年、気候変動により大雨の頻度が多くなり、これまでに経験したことのないような風水害が起きています。

台風や局所的豪雨では短時間に大量の雨が降り、河川の増水、堤防の決壊などのおそれがあります。

被災リスクを減らすために、市町の防災無線やラジオから発表される情報に耳をかたむけ、少しでも早く安全な場所に避難できるよう、日ごろから備えておくことが必要です。

では、どのような備えがあるかみてみましょう。

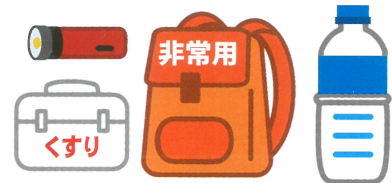
●事前の備え

- 市町から配布された防災無線の電源を切ったり、音量を小さくしたりしていないかを事前に確認する
- 飛散物の飛び込みに備えてカーテン・ブラインドは閉めておく
- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく
- 風で飛ばされそうな物の固定、または家の中へ収納する
- 断水に備え、お風呂に生活用水をためておく



●断水・停電への備え

- LEDランタン（懐中電灯）
- カセットコンロ&ガス
- 小型の蓄電池（モバイルバッテリー）
- 非常用トイレ
- 飲料用ポリタンク



●非常持出品の備え

両手が使えるリュックサックに下記の物などを備えましょう。

- 貴重品（通帳・印鑑・保険証・免許証）
- 懐中電灯(予備電池)、ヘルメット
- 処方薬、生理用品、ばんそうこう
- 着替え(下着、靴下、防寒具)
- 缶詰、レトルト食品、缶入りパン、バランス栄養系食品、飲料水
- 介護用品（おむつ、介護食）
- ベビー用品（母子手帳・おしりふき、紙おむつ・ミルク・ほ乳ビン・ベビーフード、ガーゼ、おんぶひも・使い捨て食器類）



※飲料水は、1人1日3ℓを目安に。

～ミルクを飲ませている乳幼児には～

避難所では、共同生活のストレスにより母乳が出ないことがあります。そのようなときは「ほ乳瓶での授乳を」と考えますが、ほ乳瓶は洗浄や消毒等が必要になり、さらに多くの水を使います。そこで便利になるのが使い捨てほ乳瓶です。赤ちゃん用品を売っているお店などで購入することができます。

いざという時のために、今のうちから準備してはいかがでしょうか。





ヘビやマダニにご注意を！



九州地方には毒を持つヘビやマダニが生息しています。
キャンプなどの屋外レジャーを楽しむためにも、生息地などを覚えておくことが大切です。

特徴などは次のとおりです。

名 前	マムシ	ヤマカガシ	マダニ
大 き さ	 全長45cm～65cm	 全長60cm～120cm	 体長3～8mm
生 息 地	田んぼ、川や池、草むら、湿気の多いところなど		畑、あぜ道、野生動物
特 徴	まだら模様。 三角の頭 尾を振るわせ、いかくする。	緑色に赤と黒が交互に入った 模様。 おとなしい性格で、刺激を しない限りおそってこない。	動物や人の血液を栄養とし、 春から秋にかけて活動が 活発になる。
かまれた時の 症 状	熱感をともなう激しい痛み、 出血、腫れなど	出血、かまれてすぐの痛み 腫れは比較的軽い。 4～30時間たつと、歯肉や 鼻、眼底など出血が見られる ようになり、吐血、血尿なども みられる。	かまれた皮膚から無理やり とろうとすると、マダニの 一部が皮膚に残り化膿する。 場合によっては、重症感染症 を引き起こす。
かまれた時の 対 処 法	口を使わずに、傷口から毒を しぼり、洗い流す。 すぐに、マムシ血清などの 治療を受けられる医療機関を 受診しましょう。	口を使わずに、傷口から毒を しぼり、洗い流す。 すぐに医療機関を受診しま しょう。	無理に引き離さず、最寄りの 皮膚科を受診しましょう。

ヘビやマダニが生息していそうな場所に入るときには、長袖、長ズボン、長靴など肌の露出の少ないものを着用しましょう！

※対応がわからないときは、医療機関に電話するか消防署（0979-82-0119）に電話しましょう！

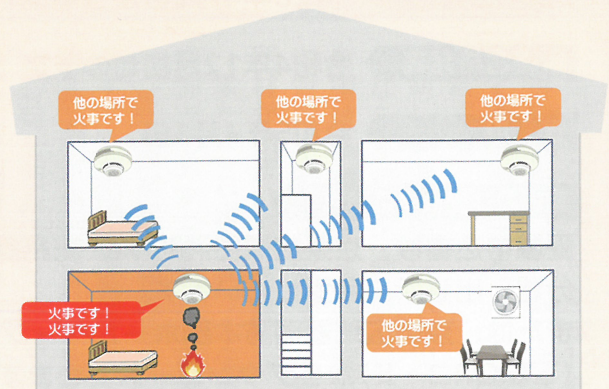
住宅用火災警報器の点検、電池は切れていませんか??

古くなると電池切れやセンサーが劣化し、火災を感知しなくなることがあります。

いざというときに火災から命を守るため、設置してから10年を目安に本体ごと交換しましょう。

警報器は、就寝中の逃げ遅れを防ぐことを目的に寝室等に設置されていますが、最近では火災を感知した警報器と連動し、ほかの部屋に設置した警報器も一斉に警報音を発する連動タイプのもので販売されています。

これから設置される方や交換される方は、連動型住宅用火災警報器の設置をおすすめします。



第48回救助技術指導会

5月27日(金)に福岡県消防学校(嘉麻市)で開催された救助技術指導会に出場しました。

例年は様々な種目に出場していますが、今年度は「集中豪雨により土砂崩れが発生」という実災害を想定した救助技術訓練に出場しました。

豊前消防署から8名の隊員が日ごろの訓練の成果を発揮し、入賞することができました。



入賞

- 【後列左から】 久藤隊員、杉本隊員、野木隊員、磯部隊員、稲葉隊員
- 【前列左から】 清水隊員、松本隊長、中川隊員



採用試験案内

試験日・会場 【1次試験】 令和4年10月16日(日)
豊前市立八屋中学校
(〒828-0075 福岡県豊前市大字赤熊1363-1)

【2次試験】 令和4年11月中旬
京築広域圏消防本部

受付期間 令和4年8月1日(月)から同年8月19日(金)

採用予定人員 消防吏員 1名程度

受験資格 平成8年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた者

最終合格発表 令和4年12月初旬の予定

採用 令和5年4月1日

案内及び受験申込請求

受験申込書は、京築広域圏消防本部 総務課又は分署、出張所に用意しています。

または、京築広域圏消防本部ホームページ(下記QRコード)からダウンロードできます。

